



サッカーで子どもたちの“未来へつながる道”を～NPO 法人ジュンレーロ～

いよいよ6月に開催されるサッカーワールドカップ。改めてサッカーに対する機運が高まってきました。そこで今回は、和歌山市でサッカーの活動をおこなう、NPO 法人ジュンレーロの取り組みを紹介します。



サッカークリニックに集まった参加者とともに



自主学習サポートの様子

プロサッカー選手に
触れる機会を
熊野信仰の象徴「ヤ
タガラス」が日本サッ
カー協会のシンボルに
なっており、サッカー
と縁が深い和歌山です
が、実は和歌山出身の
プロサッカー選手は少
ないというのが現状だ
そうです。
プロを経験した選手
と接することで、和歌
山からプロを目指す子
どもたちがひとりでも
多く出てきてほしい。
ジュンレーロはそんな
思いから生まれたNPO
法人で、主にジュニア
ユース(中学生)、ジュ
ニアユース(小学生)の
チーム運営を行ってい
ます。

和歌山市出身で、J
リーグのヴィッセル神
戸やアルビレックス新
潟などでプレー経験が
ある松尾直人さんにテ
クニカルアドバイザー
を依頼、チーム生たち
はプロで培った技術を
学んでいます。また
コーチの育成にも力を
いれており、元選手の
セカンドキャリア(第
2の人生)の環境づく



田中亜土夢選手(セレッソ大阪)のリフティングを見る子どもたち

りにも取り組んでいま
す。
昨年12月には「プロ
から学ぶサッカークリ
ニック」を開催。Jリー
グなどで活躍する現役
の選手から直接指導を
受けられるということ
もあり、多くの子ども
たちが参加しました。
今後、プロ選手と間近
で接する場を定期的に
開催していくことも予

定しています。
「文武運動」を
めざして
新たな取り組みとし
て、和歌山英数学館の
協力のもと「学習サ
ポート」の事業も行っ
ています。サッカーは
体と頭を使うスポー
ツ、勉強もしつかりで
きるようになれば、
サッカーのプレー向上
にもつながるはず。学
業を伸ばすことでサッ
カーだけではなく、人
生における未来の選択
肢も増えるため、この
4月から事業をスター
トさせました。
対象はジュニアユ
ース(中学生)に所属す
るチーム生たち。和歌
山英数学館の教室で、
大学生の講師が学校の
復習や宿題など自主学
習のサポートを行いま
す。
高校野球で有名な滋
賀県の膳所高校が掲げ
ているように、「文武
両道」ならぬ「文武連
動」を見本に両方のレ

ベルを高め、相互に
い影響をもたらすよ
うなチームづくりを
目指しています。
ジュンレーロの名前
は、熊野古道の「巡
礼路」からインスパイ
アされたそう。サッカ
ーや学業を通して過
去から現在、そして「
未来へつながる道」を
つくりたいという思い
が込められています。
NPO 法人格を取得し
たのは、子どもたちが
サッカーに打ち込める
安定した環境を提供す
るため。今後は、NPO
法人として企業や行政
など積極的に連携し、
子どもたちそれぞれが
思い描く聖地(夢)へ
と歩んでいけるようサ
ポートしていきたいと
考えています。今後の
活躍に期待したいです
ね。(K・K)

NPO 法人ジュンレーロ
URL <http://junrelo.org/>
Facebook ページは「FC ジュンレーロ」で検索
TEL 080-8155-4224 (事務局)
■ジュニアユース(中学1～3年生) チーム生募集!
詳しくはお問い合わせください



みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- わうフェスタ in ゴールデンウィーク
犬やヤギの散歩体験、動物とのふれあい、動物×クイズ、ぬり絵など、いつもと少し違う体験が楽しめます。
日時 5月3日(木・祝)～5月5日(土・祝)の10:00～17:00
場所 和歌山県動物愛護センター(紀美野町)
参加費 無料
問い合わせ 和歌山県動物愛護センター(073-489-6500)
- 世界遺産世界遺産三谷坂トレッキング
妙寺駅から丹生都比売神社までを歩きます。
集合時間 JR 妙寺駅で 5月12日(日) 9:00～10:30に受付後、随時出発。
ルート 妙寺駅～丹生酒殿神社～笠石～扇切地蔵～丹生都比売神社(約7.6km、標準所要時間2時間半)
参加費 500円(保険代等含む)申込締め切り 5月1日(火)
問い合わせ・申込み かつらぎ町観光協会(0736-22-0300)
備考 オプションプログラムあり。詳細は観光協会ウェブサイトで(<http://www.katsuragi-kanko.jp/>)
- 図書館バックヤード見学
めったに見ることができない図書館のバックヤードを見学しませんか。
日時 5月6日(日) 10:00～11:10と14:00～15:10の2回
場所 和歌山県立図書館
内容 ①県立図書館の紹介、②地下書庫や貴重書庫、古文書等見学、③司書のお仕事見学と体験、④「南琴音楽文庫」の紹介
対象・定員 県内在住の小学生とその保護者、各回10組
参加費 無料(要申し込み)
問い合わせ・申し込み 和歌山県立図書館(073-436-9500)
備考 ウェブサイトに詳細あり
- 消費者月間・金融経済講演会「暮らしに役立つ行動経済学」
NHK-E テレ「オイノミア」出演の大竹先生の講座です。
日時 5月19日(土) 13:30～15:00
場所 和歌山ビッグ愛
講師 大竹文雄さん(大阪大教授)
定員 250名(事前申込必要)
参加費 無料
申し込み 和歌山県金融広報委員会(073-426-0298)

このほかの情報もたくさん掲載!
「わかやまイベントボード」
URL <http://eventboard.shiminjuku.jp/>

1週間って知らない話 NPOの 第6回 NPOとは?⑥

NPOは「非営利組織」の略ではありますが、非収益・非報酬ではない、ということを取り上げました。では、どのような収益や報酬が考えられるのでしょうか。

まず収益については、NPO 法人の会計基準として策定されている「NPO 法人会計基準」では、収益を5種類に区分しています。

- (1) 受取会費
団体の会員のみなさんからの年会費や、資金的に応援してくれる賛助会費など。
- (2) 受取寄附金
団体の活動を支援するための寄附金等。
- (3) 受取助成金等
団体の活動を支援するための外部からの助成金・補助金等。
- (4) 事業収益
団体の活動によって得られた収入。
- (5) その他収益
預金利息をはじめとしたその他の収入。

仮に活動が完全なる無償ボランティアであっても、活動に必要な資材等を購入するための費用等は必要です。団体の会員からの会費のほか、寄附金や補助金等で十分経費をまかなえている団体もありますが、外部からの寄附金、助成金や補助金を獲得し続けるには限界もあります。サービスの対価として費用をいただくことも重要な資金源となりうるのです。

「サービスの対価として費用をいただく」という行為は、活動の受益者側から見ても心理的なハードルを下げるという指摘もみられます。「無料でいろいろサービスを提供してもらうのは気が引ける」という遠慮の気持ちから、受けられるはずのサービスを十分に利用しないというケースは少なくありません。少額であっても対価を介在させることで、サービスを提供する側は責任を持って、提供される側も気兼ねなくサービスを利用できる、という側面もあるのです。

【今回のポイント】
・NPO が得る収入には①会費、②寄附金、③助成金・補助金、④事業収益、⑤その他、の5種類がある。
・NPO が事業を提供することによる対価を得ること自体は問題ない。ただし余剰金は全額繰り越すなどの条件がある。

ただし、得た収益は団体の次の活動に使うことが原則となっており、余剰金が発生した場合は構成員で分配するのではなく、次年度に全額繰り越すこととなっています。これが「非営利」の本来の意味です。また、その活動が法人税や消費税の課税対象となっている場合は、納税の義務も発生します。これはNPO が法人格を持っていようがなかろうが、同じ原則となっています。

NPO が対価を得ることに対してはまだまだ心理的ハードルが高いのも事実。なかには「非営利なのに税金を取るのか」という誤解に基づくものもみられます。